

令和6年2月議会

# 地域活力創生特別委員会説明資料

企画振興部

知事公室

総務部

健康福祉部

環境生活部

商工労働部

観光戦略部

農林水産部

土木部

教育庁

企業局



# デジタル田園都市国家構想

## 【DX関係】



# 1. 産学連携によるDX推進

## (1) くまもとDX推進コンソーシアムにおける取組み①

公開イベント「企業DXの突破口」の開催(令和5年12月21日 熊本城ホール)

- (1) 基調講演 「人生、今日がはじまり ～DXを活用した良い品 良い人 良い会社づくり～」  
森光 孝雅 氏 (株式会社八天堂 代表取締役)
- (2) 特別講演 「キーワードは『連携』 ～効果的・効率的なDXの進め方とは?～」  
野元 伸一郎 氏 (株式会社 kiipl&nap エグゼクティブコンサルタント)
- (3) 企業における事例発表(2社:観光、防災)
- (4) 企業ブース出展  
15社によるデジタル技術等の紹介

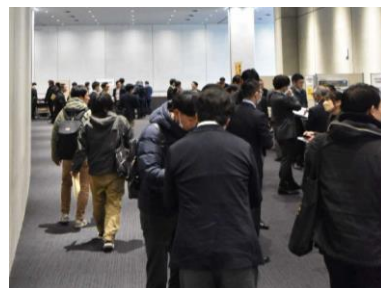
➡参加者: **238**名 (現地参加者は過去最高)



森光孝雅氏



野元伸一郎氏



企業ブースの様子①



企業ブースの様子②

# 1. 産学連携によるDX推進

## (1) くまもとDX推進コンソーシアムにおける取組み②

### DX実践セミナーの開催

#### (1) 趣旨

- ・他社の実例を交え、DX推進の要点を実践的に学ぶことで、企業の具体的な取組みにつなげる
- ・参加者間の交流も促進

#### (2) 概要

第3回「バックオフィス・働き方改革」(11月17日)

- ・勤怠管理、支払プロセスの効率化
- ・RPAによる定例業務の自動化 等

(参加者:20名)

第4回「営業・マーケティング」編(1月16日)

- ・顧客管理、アプリを用いた営業記録共有 等

(参加者:25名)

第5回「販売促進」編(2月13日)

- ・データを活用した販売戦略 等

(参加者:21名)

※第1回「組織づくり・人材育成」、第2回「データ利活用」は、9月定例会においてご説明

### データ活用ブートキャンプの開催

#### (1) 趣旨

- ・企業におけるデータの利活用を推進できる人材の育成を目指すプログラム

#### (2) 概要

日 程:令和5年12月～令和6年2月 (全9回)

参加者:17企業から23名

#### 内 容:

- ・データの収集、分析、検証をテーマに座学と実習を実施
- ・データの可視化、WEBマーケティング、効果検証など、企業での実践をめざす



ブートキャンプ会場の様子

# 1. 産学連携によるDX推進

## (2) 企業におけるデジタル技術導入の支援

### 「DXマッチング商談会」の開催（令和5年10月18日 グランメッセ熊本）

#### (1) 趣旨

- ・経営課題をデジタル技術で解決したいが、「活用の仕方が分からない」中小企業が多い
- ・技術/サービスを提案するIT系企業との対話機会を通じ、具体的取組の一助とする

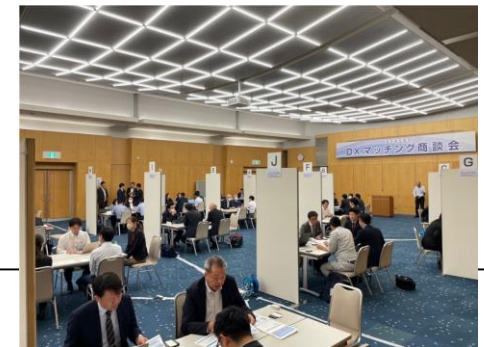
#### (2) 概要

- ・課題を解決したい企業のブースを、IT系企業等が訪問し、デジタル技術・サービスを提案
- ・事前に県、肥後銀行、熊本銀行が連携し、企業の課題や商談対象を整理
- ・課題側企業は最大5回の商談機会（1商談あたり25分間）

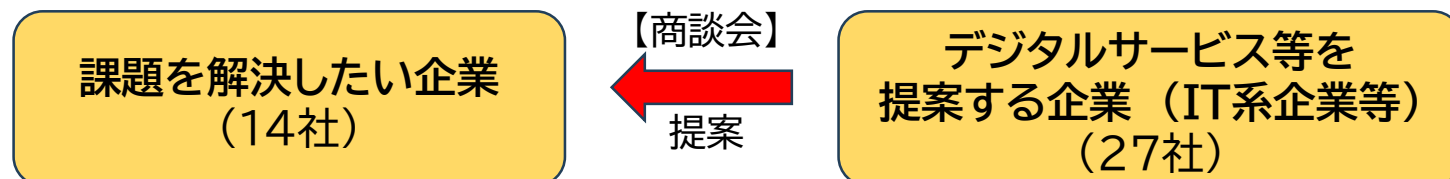
(3) 主催等 主催：熊本県 共催：肥後銀行、熊本銀行 後援：くまもとDX推進コンソーシアム

#### (4) 参加企業

- ① デジタル技術で自社の経営課題を解決したい 県内企業（14社）  
※建築業、食品加工業、製造業、農業関連など
- ② デジタルを活用した商品やサービスなどを提案する 企業（27社）



商談会の様子



肥後銀行・熊本銀行がサポート

くまもとDX推進コンソーシアムにて公募

# 1. 産学連携によるDX推進

## (3) 熊本学園大学との連携

### 連携イベントの開催（令和6年1月20日）

「地域を楽しむイベントをデータから考えよう！」

#### (1) 趣旨

- ・大学生、社会人を対象にデータ活用の意義を体感してもらうイベント
- ・オープンデータを活用して、グループで意見交換しながら、地域イベントを企画

#### (2) 概要

- ・オープンデータ概要や活用の事例、方法説明
- ・グループワーク

（参加者：学生16名、社会人17名）



ワークショップの様子

## (4) 地域との連携

### 人吉球磨観光での周遊データ取得実証

（令和5年11月～令和6年1月）

「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町の旅」

#### (1) 趣旨

- ・観光施策分析に用いるデータ取得の実証
- ・関係者での共有を図り、観光客の周遊性の向上等、魅力ある観光地づくりにつなげるもの

#### (2) 概要

- ・スタンプラリーイベント「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町の旅」を実施
- ・観光客が「三日月札(ICタグ)」を持ち歩くことで、周遊データを取得
- ・周遊データを分析し、関係者で共有・意見交換



利用イメージ



ICタグ

三日月札  
(みかづきふだ)



## 2. 地域におけるDXの取組み・・・①救急・防災

### 熊本市

#### 119番通報への効果的な対応

～映像通報システム(Live119)～

##### (1)趣旨

- ・119番通報に映像を加えることで、言葉では伝えにくい現場の状況を、通報者が正確に伝達できる仕組み
- ・救急事案では、通報者に蘇生法の動画を送りながら、応急手当の助言を行うなど、効果的な救命活動にもつなげる

##### (2)取組概要

###### i)119番通報時に映像で現場状況等を正確に伝達

- ・通報中に、通報者がスマートフォンで映像や位置情報を送ることで、現場の状況を正確に伝達

###### ii)動画も活用しながら通報者へ応急手当等を助言

- ・消防指令員が映像を確認しながら通報者に対して応急手当を助言することが可能
- ・通報者へ心肺蘇生法などの映像を送信し、通報者は映像を見ながら応急処置できる

ショートメッセージ(SMS)を  
消防から送信

SMSに記載のURLから  
Live119を起動

注意事項の確認とマイクなどの  
使用許可を行い、撮影開始!



Live119の利用イメージ

### 八代市

#### 避難者支援の充実

～スマート避難所～

R6年度開始

##### (1)趣旨

- ・避難所への入退出状況、避難者の健康状態、必要な支援物資の把握などを、オンラインで行う、「八代市スマート避難所システム」を導入
- ・避難所生活の質の向上と、避難所運営の効率化につなげる

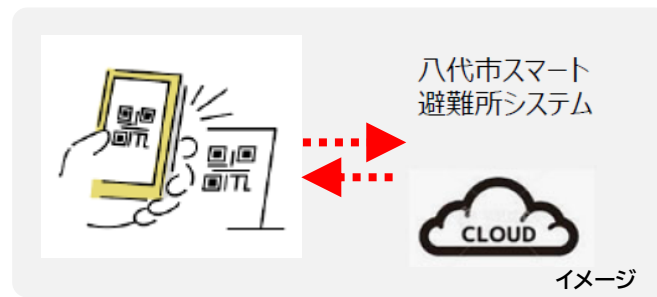
##### (2)取組概要

###### i)避難者情報をデジタルで把握

- ・QRコードで、避難者の避難所入退出を受付
- ・事前のLINE登録に基づき、近親者へ入退室(安否)情報をメール通知

###### ii)避難者の情報を共有

- ・市において、避難状況、避難者の健康情報、ニーズなどを「スマート避難所システム」で共有
- ・各避難所からはオンラインで情報を集約



## 2. 地域におけるDXの取組み・・・②医療・健康づくり

### 荒尾市

#### 市民における健康状態の可視化

～ウェルネススマートタウン～

##### (1)趣旨

- ・様々な健康データをスマートフォン上で確認するとともに、AIによる将来健康予測も行うことで、市民における健康状態の可視化と、行動変容を促す取組み
- ・適切な助言とともに、健康づくりへのクーポンも付与し、市民の健康増進、健康寿命の延伸につなげる

##### (2)取組概要

###### i)電子版あらお健康手帳

- ・個人の医療情報、お薬手帳、日常の健康データをスマホアプリで管理（日常的に可視化）

###### ii)AIを活用した健康予測シミュレーション

- ・血液検査データを基にAIが疾病リスクを予測（4年以内の〇〇になる確率は〇〇% など）

###### iii)スマホアプリ等健康増進サービス

- ・AIを活用して個人に合った食事と運動の提案



### 小国郷公立病院組合

#### 移動診療車による地域医療の充実

～小国郷医療MaaS(マース)～

##### (1)趣旨

- ・小国郷公立病院組合において、オンライン診療車を使った遠隔地診療「医療MaaS」を運用
- ・診療車が地域に出向くことで、医師による遠隔診療を行い、高齢者の通院負担を減らすなど、医療機関及び移動手段が減少する地域医療の充実につなげる

##### (2)取組概要

###### i)医療MaaS車両の運用

- ・医療機器を搭載し、看護師が乗車する移動診療車を運行（医師の訪問診療時にも活用）
- ・公民館などを巡回

###### ii)遠隔診療等の実施

- ・オンラインにより医師が遠隔診療
- ・訪問診療時でもオンラインで病院内の情報を閲覧



MaaS車両内観



MaaS車両外観

## 2. 地域におけるDXの取組み・・・③交通

### 熊本市

#### 地域交通の確保

～「チョイソコくまもと西南」(AIデマンドタクシー)～

##### (1)趣旨

- ・住宅近くの停留所から病院、店舗等の間を、乗合いタクシーが運行
- ・予約に応じてAIがルートを判断し、利用者を効率的に運送する仕組みで、公共交通の空白または不便地域の補完手段として期待

##### (2)取組概要

###### i)電話、インターネットで利用受付

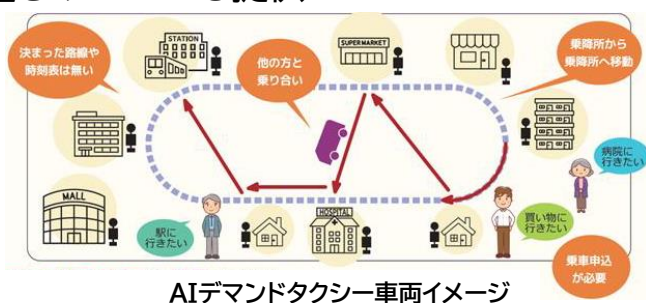
- ・乗車及び降車する停留所を予約

###### ii)AIによる効率的な送迎ルートで送迎

- ・複数の移動希望者を効率的に送迎するためにAIが最適なルートを決める (料金は均一)

###### iii)見守りサービス

- ・乗降した際に、自動的に指定アドレスにメールを送るサービスも提供



### 天草市

#### 地域交通の確保

～栖本地域AIオンデマンド乗合タクシー～

##### (1)趣旨

- ・利用者の指定する場所から町内のどこにでも、乗合いタクシーが運行
- ・予約に応じてAIがルートを判断し、利用者を効率的に運送する仕組み。
- ・民間路線バスの一部区間廃止に伴う代替交通導入による持続可能な移動手段の確保

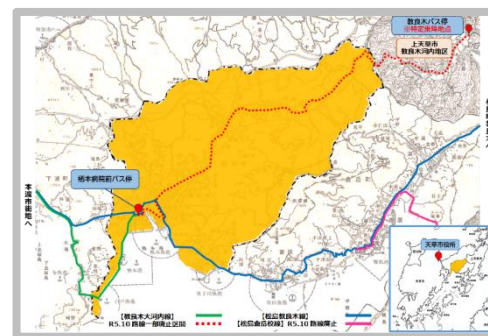
##### (2)取組概要

###### i)電話、インターネットで利用受付

- ・乗車及び降車地点を指定して予約

###### ii)AIによる効率的な送迎ルートで送迎

- ・複数の移動希望者を効率的に送迎するためにAIが最適なルートを決める
- ・料金は予約時の乗降場所の直線距離により決定



## 2. 地域におけるDXの取組み・・・④窓口等サービス

### 阿蘇市

#### 公共施設利用における利便性向上

～スマートロックシステムの導入～

##### (1)趣旨

- ・公共施設の貸出にあたり、暗証番号で開錠可能な「スマートロックシステム」を導入
- ・鍵の受渡しが必要となり、住民の利便性が向上
- ・管理者の鍵管理負担も軽減

##### (2)取組概要

###### i)施設利用予約者へ暗証番号を送付

- ・グラウンドや体育館等について、利用予約後、メールで予約時間帯のみ有効な暗証番号が発行

###### ii)利用者が暗証番号で開錠

- ・利用施設において暗証番号で開錠
- ・なお施設には、通信のためWi-Fi整備のほか、施設に応じて防犯カメラを設置



リモートロック



リモートキーボックス

### 氷川町

#### 行政手続における利便性向上

～スマート行政サービスの推進～

一部R6年度開始

##### (1)趣旨

- ・デジタル完結による「書かない・行かない・待たせない」行政サービスに向け、行政手続のオンライン化などを推進
- ・行政手続における住民利便性が向上

##### (2)取組概要

###### i)行政手続きのオンライン化

- ・オンライン申請可能な手続きを拡充

###### ii)キャッシュレス決済の推進

- ・キャッシュレス機器の導入によりクレジットカード、交通系IC、電子マネーなど多様な決済手段へ対応

###### iii)コンビニ交付サービス

- ・いつでも証明書を発行できる環境を整備

###### iv)公共施設予約サービス

- ・スマートフォンなどで公共施設予約環境を整備



行政手続きオンライン化



キャッシュレス推進



コンビニ交付サービス



公共施設予約サービス



# 3. DX推進に向けた今後の取組みの方向性

## DX推進に向けた今後の取組みの方向性

### (1)現在の状況

- 熊本県情報化推進計画に基づきデジタル化施策を展開(令和3～5年度)

➡全庁的なデジタル化施策の広がり

<参考>計画関連事業の推移

令和3年度：73事業 ➡ 令和4年度：108事業 ➡ 令和5年度：125事業

(対令和3年度比：+52増 (+1.7倍))

- くまもとDX推進コンソーシアムの活動等によるDX機運の醸成

➡企業、団体における関心の高まり

<参考>コンソーシアム会員 507企業・団体(R6.1月末現在)

### (2)今後の方向性

人口減少による人材不足等の地域課題を解決し、将来にわたって地域活力を創出するため、県全体でデジタル化、DXをさらに推進

- デジタルを活用した行政の業務の効率化
- 県施策の幅広い分野へのデジタルの活用
- 民間事業者、市町村へのデジタル化、DX支援

### (3)重点的な取組事項

- デジタルデータの活用
- AIなど新たなデジタル技術の活用



# デジタル田園都市国家構想

## 【移住定住等関係】



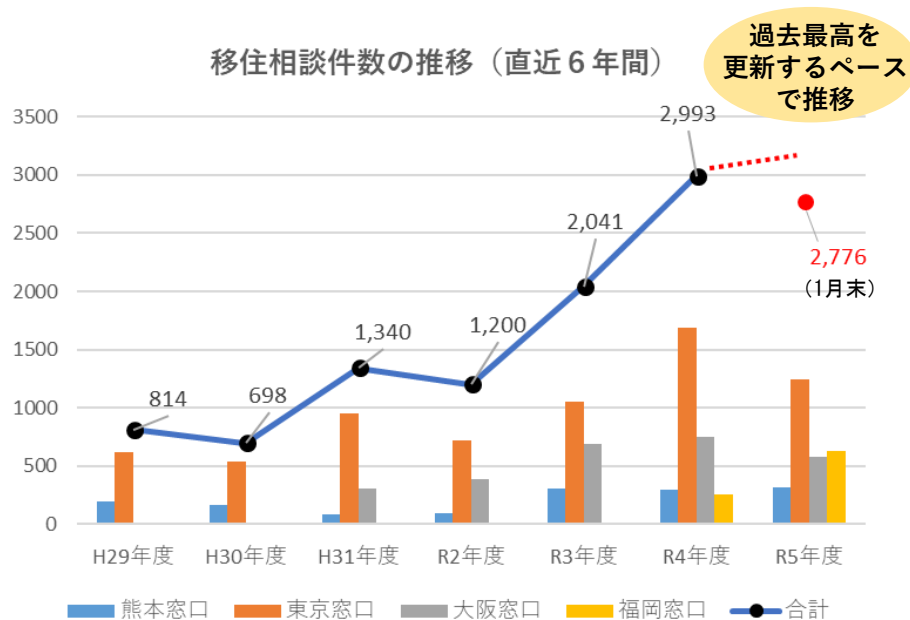


# 1 近年の移住定住を取り巻く状況について

◆R5年度（2023年度）の移住相談件数（R6.1月末現在）：**2,776件**

（参考：R4年度：2,993件、R3年度：2,041件、R2年度：1,200件）

※東京・大阪・福岡・熊本の窓口への移住相談件数の合計



	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5 (1月末)
熊本窓口	198	165	87	93	308	297	317
東京窓口	616	533	953	720	1,048	1,689	1,248
大阪窓口	-	-	300	387	685	753	581
福岡窓口	-	-	-	-	-	254	630
合計	814	698	1,340	1,200	2,041	2,993	2,776

※大阪窓口はR1.7月から、福岡窓口はR4.7月から設置

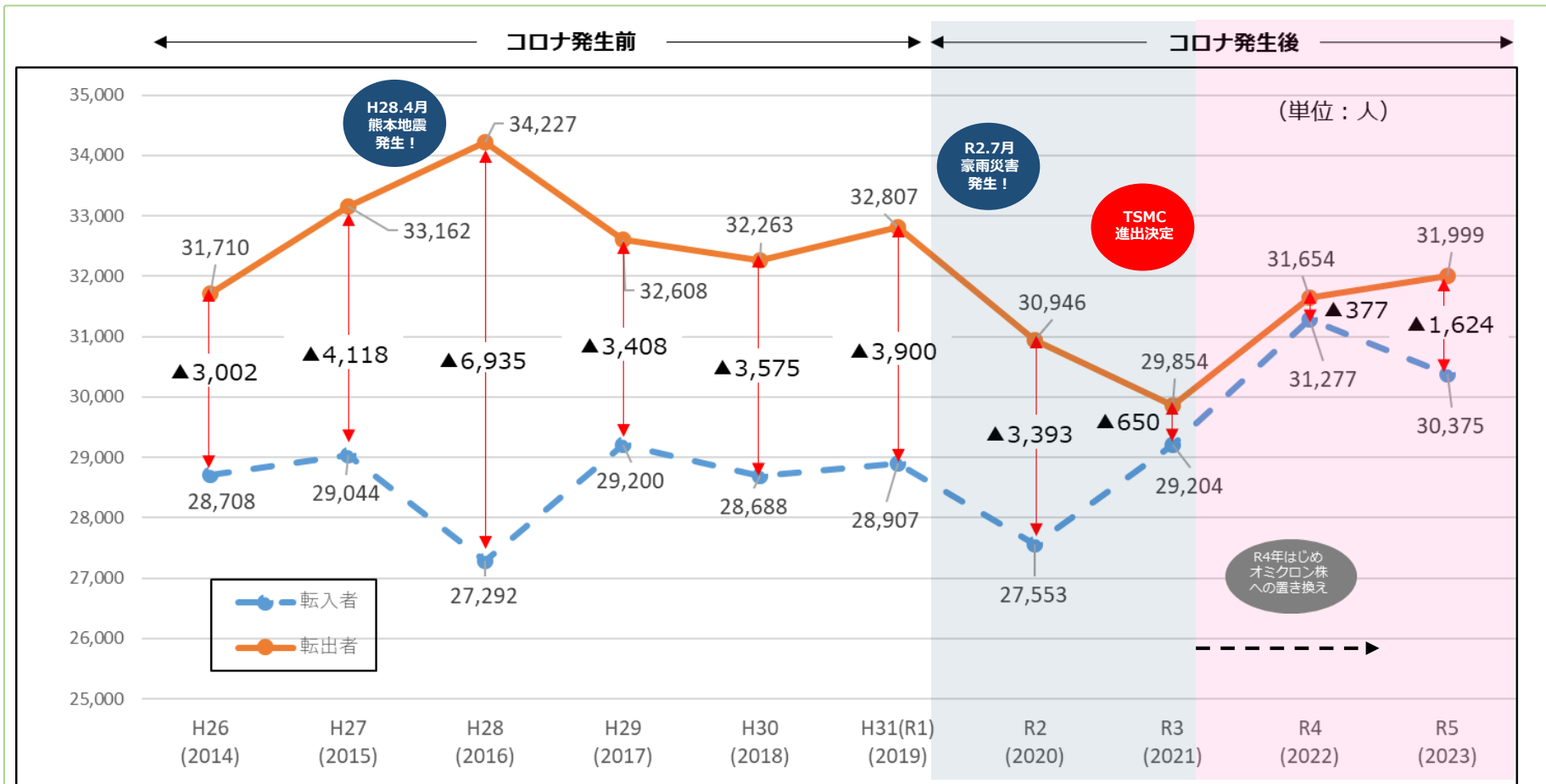
※R5年度についてはR6.1月末時点の件数を記載

- ・地方移住への関心の高まりから、本県の移住相談窓口への相談件数は増加傾向となっており、**令和5年度も過去最高となった昨年度（令和4年度）を上回るペースで推移**

# 1 近年の移住定住を取り巻く状況について

## ○ 本県における社会増減の推移（国内間の転出入のみ）

- ・ 新型コロナウイルス発生後（R2～4年）の社会増減は転出超過幅が縮小傾向にあったが、R5年は転出超過幅が拡大
- ・ 大阪圏、福岡県、との間の社会増減が悪化したため、県全体の転出超過幅が拡大
- ・ 東京への一極集中の流れが加速化している中ではあるが、本県と東京圏（都）との間の社会増減に大きな変化はない



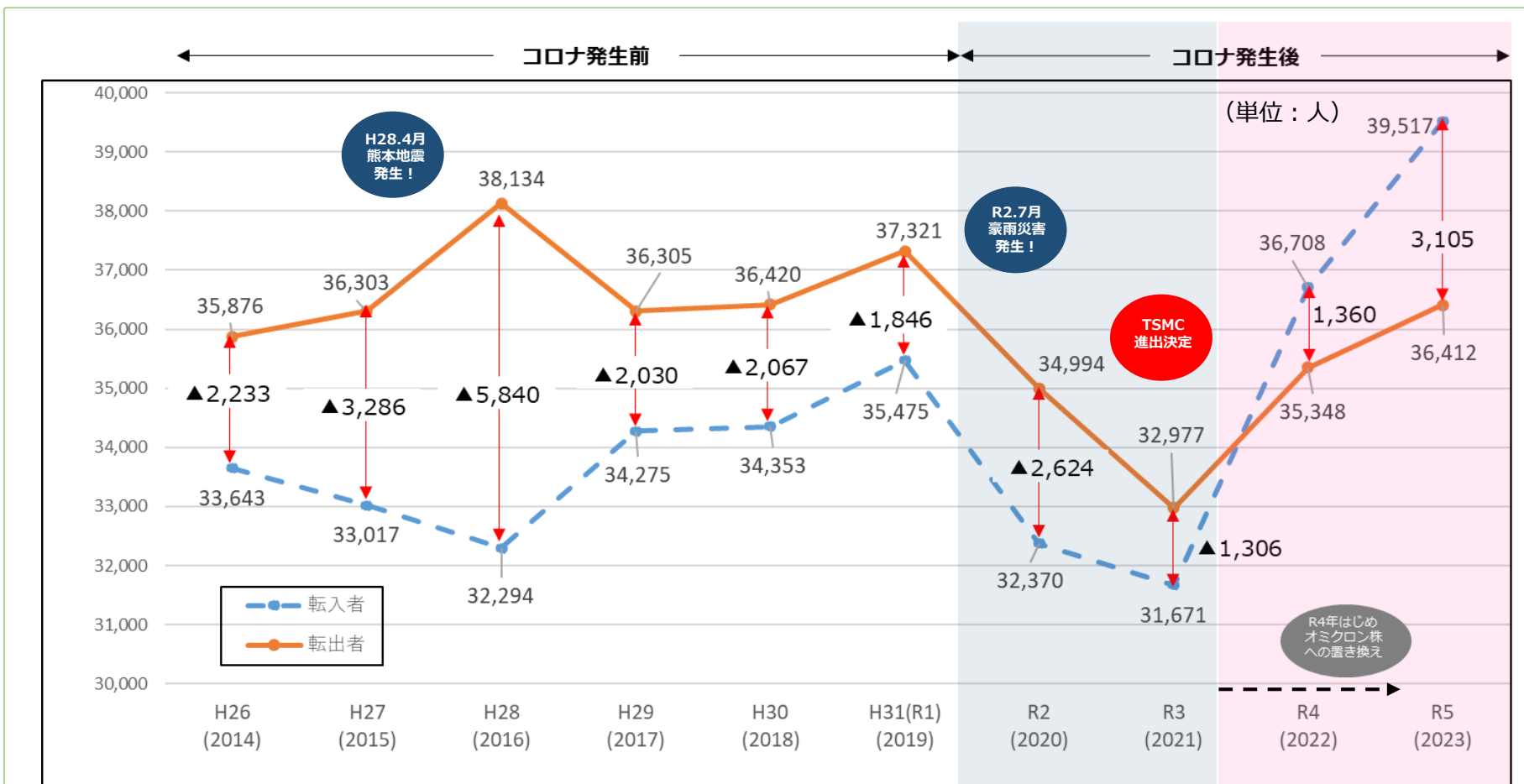
※ 総務省の「住民基本台帳人口移動報告」より。国内における県外間の人口移動を暦年で集計したもの（国外間の転出入者等は含まれない）

※ 外国人の移動を含む集計となったH26以降を比較

# 1 近年の移住定住を取り巻く状況について

## ○ 本県における社会増減の推移（国外間の転出入等を含む）

- ・ 新型コロナウイルス発生後（R2～3年）の社会増減は転出超過幅が縮小し、TSMC進出決定後のR4年は26年ぶりに転入超過へと転換
- ・ R5年は、国外間との間の社会増減が改善したこと等により、転入超過幅がさらに拡大



※ 「熊本県推計人口調査」より。国外も含む人口移動を各年の10月1日現在で集計したもの（県外間の転出入者及び国外間の転出入者等が含まれる）

※ 総務省「住民基本台帳人口移動報告」と比較するため、H26以降を比較

# 2 移住定住関係事業の取組み状況について

移住定住の推進に向けた取組みの方向性  
～ともに豊かなくまもと暮らしを～

基本方針： 地方移住の関心の高まりに合わせ、都市部の若年層をターゲットに、「豊かな暮らし」を実現する施策を展開し、熊本への人の流れを加速化する。



## 移住定住推進本部

豊かに暮らせる熊本の実現

生活環境 (子育て・医療・福祉等) ・ 社会基盤 (インフラ・公共交通等) ・ 教育環境 (教育・進学等) 等の整備

選ばれる熊本の実現

### 【方針1】 デジタル技術の活用

●デジタル技術を活用し、ターゲットに効果的な情報発信を行う。

【移住定住事業】

- デジタルマーケティングによる潜在需要の掘り起こし
- オンライン特化型イベントの実施
- 市町村職員へのオンライン技術習得支援等

【主な関係事業】

- ・ 熊本県の情報発信

### 【方針2】 ターゲット(都市部)の明確化

●東京圏、大阪圏、福岡県において、重点的な取組みを行う。

【移住定住事業】

- 移住定住相談窓口の設置 (R4年度～福岡相談窓口を新設)
- 県外事務所と連携した広報活動
- 移住視察に係る支援やニーズ分析等

【主な関係事業】

- ・ UIターン就職支援等

### 【方針3】 意欲的な市町村等への重点支援・連携強化

●移住定住や地域資源の活用に意欲的な市町村を重点的に支援する。

【移住定住事業】

- 「すまい」の改修等への支援に加え、移住施策に係る市町村の課題解決に要する経費への支援
- 県空き家バンクプラットフォームの運用等

【主な関係事業】

- ・ スーパー中山間地域の創生
- ・ 空家対策

### 【方針4】 関係人口等の拡大

●熊本に縁のある関係人口を増やし、移住への裾野を広げる。

【移住定住事業】

- 「ラブくまプロジェクト」の拡大
- 高校卒業生に向けた定期的な情報発信
- 移住体験ツアー等の実施に要する経費への支援等

【主な関係事業】

- ・ ふるさと納税
- ・ ワークेशन

○R5年度移住定住事業予算：299百万円 (R4年度:206百万円)

【参考】 R5年度庁内関係事業 94件、R5年度関係事業予算：16,873百万円※インフラ事業費を含む

半導体産業の集積等を踏まえた、「人材育成・確保」、「PR」等の実施



県内市町村

地域づくり団体

中間支援組織

地域おこし協力隊

関係団体



熊本への人の流れを加速化

※第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略

目標値(KPI): 移住者数2,074人(R1年度) → R2～R5で1万人(R2年度1,620人、R3年度2,025人、R4年度2,315人)



## 2 移住定住関係事業の取組み状況について

### 生活環境・社会基盤・教育環境等の整備

#### くまもとの女性活躍促進事業

(環境生活部)

##### 【事業概要】

女性が活躍できる魅力ある熊本の発信に向けフォーラム等を開催するとともに、女性が熊本で暮らしたいと思えるような熊本で活躍する女性のロールモデル動画を作成し、県内外に発信

##### 【R5年度の取組み】

###### ① 「ヒゴロッカサミット 2023」 (R5.12.2 (土) 開催)

- ・TSMCの進出を契機としたグローバルな視点など、様々な角度から男女共同参画を考えるフォーラムとアワードを開催  
＜講演＞ヤマザキマリ氏
- ・大学生等を対象に、熊本で活躍する女性のパネルトークと意見交換会を開催



▶参加者数：延べ400名

###### ② 「熊本県版女性ロールモデル動画」 (R5.11.29 (水) 公開)

- ・若年女性をターゲットに、県内の様々な分野で活躍する20代～30代の女性が、熊本での働き方や暮らし方等を紹介するYouTube動画を作成・発信



▶再生回数：7.2万回 (1月末時点)

##### ＜事業の成果＞

- ◆女性が活躍できる魅力ある熊本の発信により、若年女性が移住定住への関心を高めるきっかけづくりに繋がっている。

### 方針1 デジタル技術の活用

#### 復旧・復興首都圏等広報強化事業

(知事公室)

##### 【事業概要】

SNS広告の効果をも高めるため、デジタルプロモーションアドバイザーを起用。「仮説→検証」によるターゲットの具体化や、受け皿づくりによる潜在層の獲得等により、関係人口の拡大につながる取組みを効果的に発信

##### 【実施内容】

「くまもとUIJ就職フェア」をテーマに、広範囲に情報を発信する「認知度向上フェーズ」と、そのフェーズにおいて、広告画像をクリックした方を中心に情報を発信する「参加促進フェーズ」の2回に分けて広告を実施。56人の申込があり、1,000人を超える潜在層を獲得

＜受け皿づくりによる潜在層獲得のイメージ＞



##### ＜事業の成果＞

- ◆フェーズを分けた情報発信により、高い効果が見込まれるターゲットに対し効果的に発信し、熊本への関心を高める。



## 2 移住定住関係事業の取組み状況について

### 方針2 ターゲット(都市部)の明確化

#### 都市圏プロモーション事業

##### 【事業概要】

「くまもと移住」の魅力をPRするため、都市圏の電車や駅をジャックする大規模なプロモーションを展開

##### 【プロモーション概要】

###### ■ 電車ジャック

- ・ JR山手線をはじめ、東京・大阪・福岡の中心部を走る電車に、熊本の魅力を紹介する広告を掲載



(電車ジャックイメージ)

###### ■ 駅サイネージ

- ・ 東京駅、大阪駅、博多駅など、三都市圏42カ所の主要駅で、計1,000面以上のデジタルサイネージに広告を表示



(駅サイネージイメージ)

###### ■ PR式典の開催

JR山手線の電車ジャックに 合わせて、PR式典を開催 (R6.2.2 (金))

- ・ 本県出身の芸人ヒロシさんをスペシャルサポーターに任命
- ・ 広告デザインのお披露目 等



##### <事業のねらい>

- ◆ 三都市圏の在住者に、移住先としての熊本を強く印象付ける。

#### 移住体験ツアー

##### 【事業概要】

本県への移住希望者等を対象に、熊本での移住体験ツアーを実施



##### 【ツアー概要】

- コース：県北、阿蘇、県央、県南、天草の5コース
- 発着地：東京(羽田空港)、大阪(伊丹空港)、福岡(博多駅)
- 内容：移住後の暮らし(生活・仕事・住まい)に関連する施設等を訪問
- 実施日：〈第1弾〉R6.2.19(月)～21(水)  
県央・県南・天草コース  
〈第2弾〉R6.2.25(日)～27(火)  
県北・阿蘇コース

インフルエンサーやメディアも参加

訪問先  
(例)



【宇城市】  
不知火美術館・図書館



【人吉市】  
くまりばosotoHitoyoshi



【甲佐町】  
やな場

##### <事業のねらい>

- ◆ 熊本での暮らしを実際に体験いただくことで、将来的な本県への移住に繋げる。
- ◆ インフルエンサー等による魅力発信を通じ、熊本移住への関心を高める。

## 2 移住定住関係事業の取組み状況について

### 方針3 意欲的な市町村等への重点支援・連携強化

#### 関係人口創出支援等補助金

##### 【事業概要】

市町村が行う、将来的な移住定住に繋げるための「関係人口創出」に資する取組み等を支援

##### 【R5年度実績】

###### ①関係人口創出事業（湯前町）

- 目的：漫画をフックにした関係人口創出
- 事業費：1,267千円（補助額：950千円）
- 実施内容：  
漫画家を招いての漫画教室やアート制作体験を実施  
（実施日：R5.12.12（火）外）



###### ②移住体験ツアー（南阿蘇村）

- 目的：子育て環境の体感を通じた村内への移住の促進
- 事業費：476千円（補助額176千円）
- 実施内容：  
保育園及び小学校の見学・体験、地域住民との交流ツアーを実施  
（実施日：R5.11.17（金））



##### <事業の成果>

- ◆各市町村ごとの特色に合わせた取組みへの支援を通じ、関係人口の創出拡大等に繋がった。

#### 空き家バンクプラットフォーム

##### 【事業概要】

県内の各市町村が有する物件情報を集約し、広域的・横断的に検索できる「熊本県空き家バンクプラットフォーム」を運用（R5.4.1～運用開始）

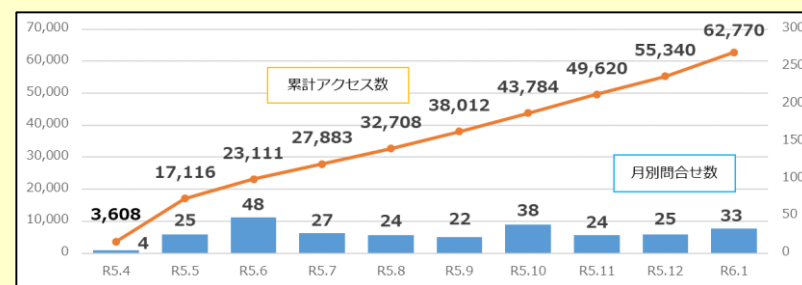


##### <特徴>

- ① 広域的・横断的な物件掲載でワンストップ検索
- ② ピクトグラムで分かりやすい検索
- ③ 360度カメラによるバーチャル内覧で利便性向上

##### 【アクセス数等の推移】

運用開始以降、累計アクセス数（R6.1末）は 62,770 件以上、問い合わせも約30件/月あり



##### <事業の成果>

- ◆多くのアクセスや問合せに繋がり、運用開始後、計29件の成約（R6.1末）に繋がった。

## 2 移住定住関係事業の取組み状況について

### 方針4 関係人口等の拡大

#### 「くまもと移住アンバサダー」の任命

##### 【事業概要】

熊本在住の著名人を「くまもと移住アンバサダー」に任命し、自身の活動の中で、県外に向け自発的に熊本県で暮らすことの素晴らしさをPRしていただく

##### 【役割】

- ・自身のHP、SNS等で熊本の魅力を発信
- ・各種イベントでのPR 等

##### 【任命式の開催】

- 日 時：R6.2.20（火）
- 内 容：本県への移住者である著名人を「くまもと移住アンバサダー」に任命（知事から任命書を交付）

##### （「くまもと移住アンバサダー」の皆さん）



©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.  
もっこすファイヤー  
（お笑い芸人）



井上晴美  
（タレント）



スザンヌ  
（タレント）



ポチョムキン  
（歌手）

##### <事業のねらい>

- ◆熊本在住ならではの視点で熊本暮らしの魅力を発信して貰うことで、関係人口や移住者の増加に繋げる。

#### ゲームとのコラボ

##### 【事業概要】

株式会社バンダイナムコスタジオが制作するゲーム「Survival Quiz CITY（サバイバルクイズシティ）おまつり編」とのコラボを実施（R6.3.1（金）～）

##### 【コラボ概要】

- （1）クイズ（100問以上）
  - ・熊本に関するクイズを出題
- （2）アイテム（20種類以上）
  - ・県の工芸品や、「ラブくまプロジェクト」公式キャラクターをモチーフにしたアイテムなど



※対応プラットフォームは2種類  
（Nintendo Switch™/Steam®）

##### （コラボアイテム例）



©2023 熊本県ラブくま

##### <事業のねらい>

- ◆ゲームでのコラボを通じ、新たな関係人口（熊本ファン）の獲得に繋げる。



# 3 R6年度の主な取組みについて

## 移住定住・UIJターン就職支援の総合窓口の設置

### 【事業概要】

これまで別々に設置していた「移住定住支援」と「UIJターン就職支援」の相談窓口を一本化し、ワンストップの相談体制を構築

#### 移住定住相談窓口

(東京・大阪・福岡・熊本)



#### UIJターン就職相談窓口

(東京・大阪・福岡・熊本)



一本化

### 移住定住・UIJターン就職相談の総合窓口

(東京・大阪・福岡・熊本)

<R6.4.1運用開始>



### <見直しの効果>

#### ● 相談者の利便性向上

移住～就職に係る相談をワンストップで行うことで、相談時間の短縮など効率的な相談対応に繋げる

#### ● 相談体制のDX化

相談者等の情報管理を統一的に実施することで、将来的なデータ利活用に繋げる



### <事業のねらい>

- ◆ 相談体制のワンストップ化を図ること等で相談者の利便性向上に繋げる。

## 移住相談会の開催

### 【事業概要】

東京、大阪、福岡の都市圏において、県内市町村と連携し、本県への移住定住促進のため、対面型の移住相談会を開催

### 【R6年度実施（予定）】

- 大規模相談会（1回）
  - ・会場：東京
- 中規模相談会（4回）
  - ・会場：東京1回、大阪1回、福岡2回



### 【R5年度実績】

- 大規模相談会（1回）
  - ・来場：223組361名
  - ・会場：東京
  - ※24市町村が出席
- 中規模相談会（4回）
  - ・来場：93組125名
  - ・会場：東京、大阪、福岡
  - ※延べ34市町村が出席

### <事業のねらい>

- ◆ 熊本県の魅力発信を通じ、移住希望者との接点を創出することで、移住促進に繋げる。

# 3 R6年度の主な取組みについて

## 移住定住に係る情報発信

### 移住定住ポータルサイトのリニューアル

#### 【事業概要】

「本県の魅力」、「仕事や住まい」の情報など、移住希望者が求める情報に簡単にアクセスできるよう、ポータルサイトをリニューアルする

#### ●新ポータルサイトの特徴

移住相談の即時予約機能



おすすめ地域診断機能



3月下旬  
運用開始  
(予定)

新ポータルサイト  
(イメージ)



#### <事業のねらい>

- ◆移住情報の検索の利便性を向上させることで、効果的な情報発信に繋げる。

### ラブくまプロジェクト

#### 【事業概要】

全国のラブくまプロジェクト会員に向けて、県内の地域情報やイベント情報など様々な情報を広く配信

■月2回配信

※会員数(R6.1末) 204,036名



#### <事業のねらい>

- ◆会員の増加（熊本ファンの拡大）を通じて、本県との関係強化を図ることで、将来的な移住に繋げる。

### くまらバ！（高校卒業生向けの情報発信）

#### 【事業概要】

県内の就職情報や観光情報を、ユーザーが登録した興味・関心の内容に絞って配信

■月2回配信

※登録者数(R6.1末) 1,498名  
(R6.2.1(木)～運用開始)



#### <事業のねらい>

- ◆高校卒業後も熊本とのつながりを持ち続けてもらうことで、将来的なリターンに繋げる。

# T S M C 進出に係る 県内波及効果

【県内各地域への台湾からの誘客、  
ビジネス交流の推進、国際交流の推進】



# 説明項目

## 1 県内各地域への台湾からの誘客

- (1) インバウンドの促進
- (2) アウトバウンドの促進

## 2 ビジネス交流の推進

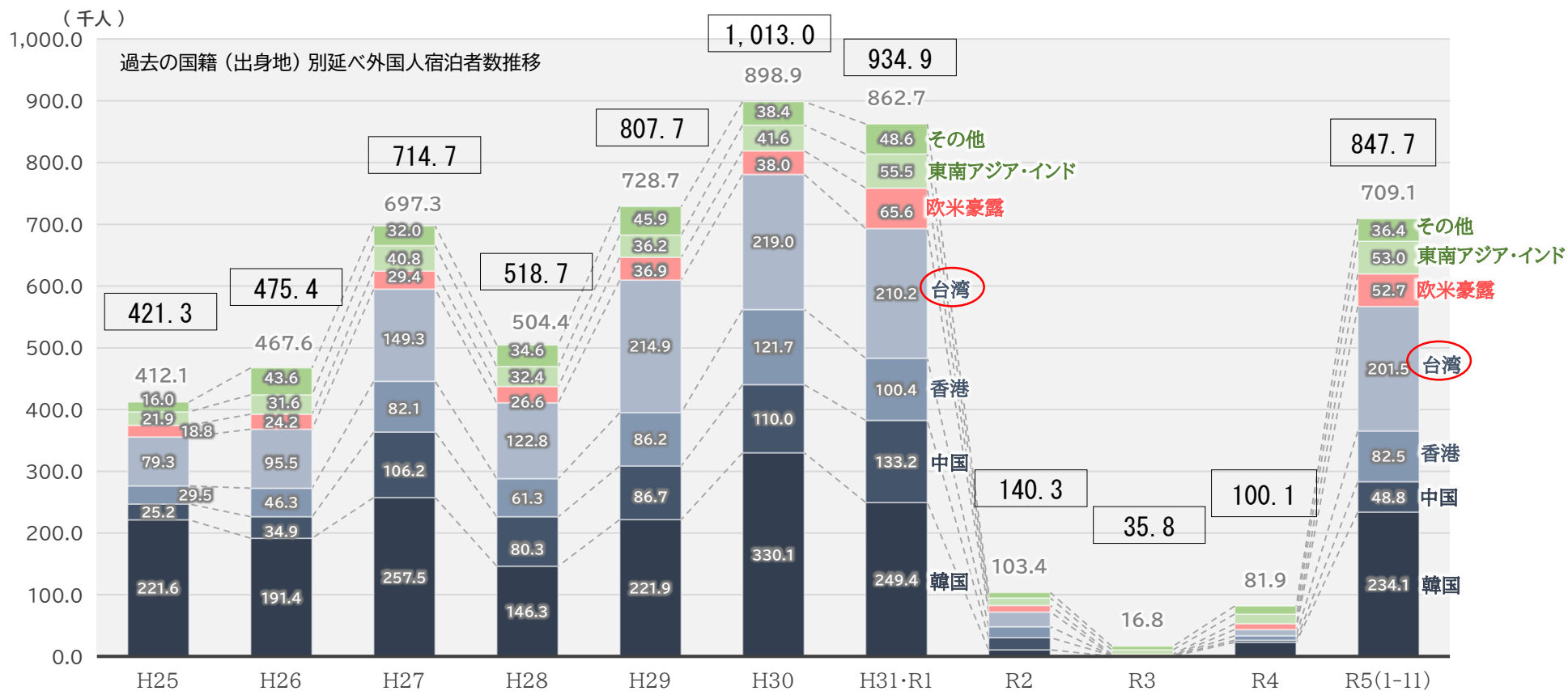
- (1) 日台間のビジネス交流・連携推進
- (2) 輸出拡大、国際物流強化

## 3 国際交流の推進

- (1) 多文化共生の推進・受入環境整備
- (2) 外国籍児童生徒の受入推進
- (3) 国際交流の推進

## 現状、経緯

- ・本県における台湾からの訪日外国人宿泊者数は、コロナ前である令和元年（2019年）時点で、年間約21万人泊であり、本県インバウンドの主要市場。



※四角囲みの数字は外国人延べ宿泊者数。

国籍(出身地)別は、10人以上の従業員数の施設が調査対象であるため、その合計と外国人延べ宿泊者数は一致しない。

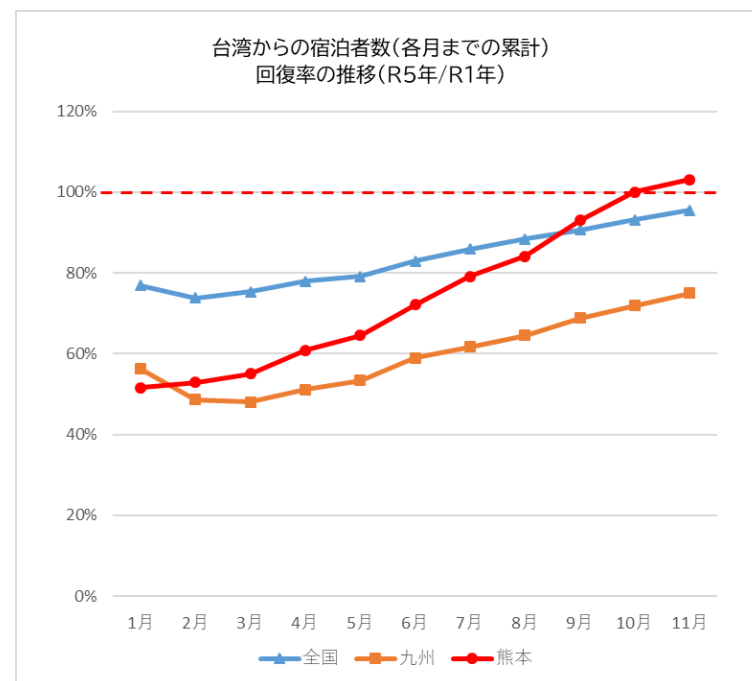
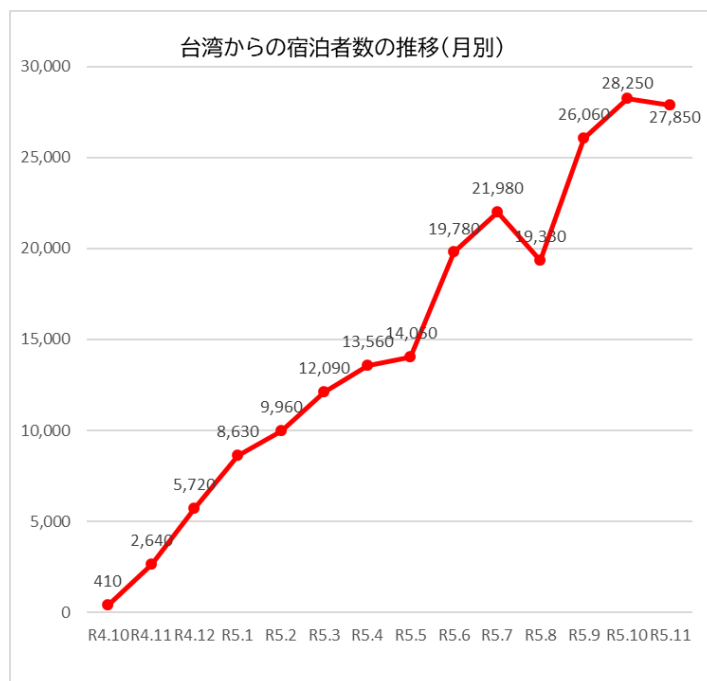
※令和4年までの国籍(出身地)別外国人宿泊者数は、令和4年(2022年)熊本県観光統計表から抜粋

※令和5年1月～11月の国籍(出身地)別外国人宿泊者数は、「宿泊旅行統計調査(観光庁)」2023年11月・第2次速報を基に熊本県作成

# 1 県内各地への台湾からの誘客（1）インバウンドの促進

## 現状、経緯（つづき）

- 台湾からの宿泊者数増加の背景として、令和5年4月には新型コロナウイルス感染症にかかる水際対策が終了。また、9月には熊本～台北線が就航。
- 令和5年1月から11月までの本県への台湾からの延べ宿泊者数は、全国や九州平均に先駆けて、コロナ前同期比の水準を突破。



## 取組の方向性

- 台湾からの誘客強化による本県観光の活性化



# 1 県内各地への台湾からの誘客 (1) インバウンドの促進

## ① 現地代理人（観光レップ）の設置

### 目的・背景

- ・本県の観光セールス等を行う現地代理人（観光レップ）を台北市に設置し、現地における営業活動や情報発信等を強化。

### 令和5年度の実施内容

- 1 旅行会社へのセールス活動（随時）  
台湾現地旅行会社に対し、訪問セールスを実施（年間30社予定）
- 2 商談会等の実施  
熊本会場（8月）：熊本県事業者19団体・台湾旅行会社8社  
台湾会場（11月）：熊本県事業者17団体・台湾旅行会社51社
- 3 熊本県観光セミナーの実施（11月）  
台南サイエンスパーク：サイエンスパーク入居企業（60社114人参加）  
新北市内ショッピングモール：一般消費者（2,258人参加）
- 4 情報発信  
SNSでの情報発信、旅行専門メディアへの記事掲載、ラジオ放送、ラッピングバス走行（R5.10.15～R6.1.31）



商談会



観光セミナー



ラッピングバス



高雄市LRTラッピング

#### 【参考：観光レップ以外の事業】

- 旅行博での観光PR  
（R5.6高雄、R5.11台北、R5.11台南）
- 高雄市LRT（環状轻轨）へのラッピング・車内広告  
走行期間：R6.1.30～R6.2.29



# 1 県内各地への台湾からの誘客 (1) インバウンドの促進

## ② 訪日教育旅行の受入体制構築

### 目的・背景

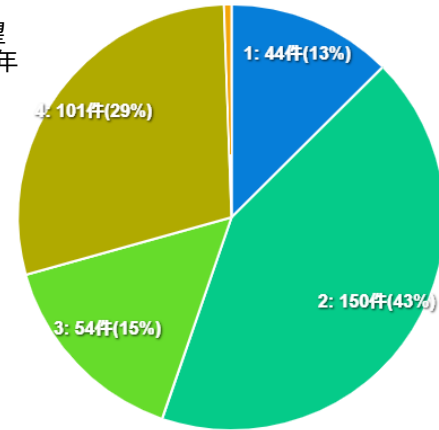
- 台湾からの教育旅行受入れを強化するため、専門の相談窓口を設置し、本県ならではの学習プログラムや行程の提案を行うとともに、学校交流のマッチングを支援。

### 令和5年度の取組内容

- 1 訪日教育旅行受入相談窓口による対応
- 2 教育旅行誘致に特化したセールスツールの作成
- 3 学校交流に向けた伴走支援の実施
- 4 県内学校へのアンケート調査の実施

問) TSMCの熊本進出を受け、台湾の学校から交流希望が多く寄せられています。今後(令和6年1月～令和7年3月)、台湾との学校交流を行う意向がありますか。

- 1. ある
- 2. ない
- 3. 検討中
- 4. どちらとも言えない
- 5. 未回答



県内学校(公立小・中・高校等)へのアンケート(抜粋)

### 【相談窓口の支援による教育旅行受入事例】

相手校：高雄市勝利國小学校 50名  
(児童22名・教職員7名・保護者21名)

受入校：山鹿市立鹿北小学校

日程：令和6年(2024年)  
1月18日(木)～22日(月)

行程：山鹿市、荒尾市、熊本市、阿蘇市 等



# 1 県内各地への台湾からの誘客 (1) インバウンドの促進

## ③旅行商品の造成・販売等への支援

### 目的・背景

・長引くコロナ禍や物価高騰の影響を受けている地域経済の回復につなげるため、県内の滞在時間や宿泊日数の増加を目指し、県内に2泊以上の宿泊を伴う旅行商品の造成・販売に係る支援を実施。

### 令和5年度の取組内容

熊本県台湾インバウンド旅行商品造成・販売支援補助金

造成された旅行商品の例

#### ○補助対象

台湾からの熊本県内宿泊を伴う旅行商品を販売する旅行会社

#### ○補助内容

県内2泊のツアー 一人当たり 6,000円  
 県内3泊のツアー 一人当たり15,000円  
 県内4泊以上のツアー 一人当たり28,000円

#### ○申請状況 (R6.1.17 時点)

交付決定事業者数 35社  
 送客見込数 17,736名



旅行商品販売広告 (チラシ)



旅行商品販売広告 (SNS)

# 1 県内各地域への台湾からの誘客（2）アウトバウンドの促進

## ①熊本～台北線の利用促進

- 台湾に旅行するグループに対し、1人往復5,000円の団体利用助成を実施。
  - ・団体利用助成：653団体、1,878人利用（R6.1月末現在）
- 熊本～台北線の利用促進のため、テレビ、ウェブ等を活用したプロモーション事業（「びゃんびゃん台湾」キャンペーン）を実施。
- 国際線を利用する方に対し、熊本国際空港株式会社による空港駐車場の無料化。（最大8,000円の上限あり）



## ②若者のアウトバウンド推進

- 県内在住の学生（15歳以上30歳未満）が初めて海外渡航する際のパスポート取得費用を助成（1人5,000円）
  - ・申請件数:158件（R6.1月現在）
- 海外へ修学旅行に行く学校へ事前視察費用を助成（1校当たり最大15万円）
  - ・事前視察：1校（宇土高校）（R6.1月現在）

## ③グローバルジュニアドリーム

- 県内の小中高生を台湾高雄市に派遣し、自分の夢と可能性を発見する機会の提供、グローバル社会に視野を向けた子どもの育成を図る。
  - ・派遣時期：令和5年8月1日～8月5日
  - ・派遣人数：小中学生25人、高校生5人
  - ・高雄市立中山中学校に集合した現地小中高生と交流会を実施。台積創新館（TSMC博物館）の見学を通し、TSMCや半導体の歴史についての学習を実施。



## 2 ビジネス交流の推進（1）日台間のビジネス交流・連携推進

### 現状、経緯

- ・ R4.8 県と台日産業連携推進オフィスとの連携協定締結
- ・ R5.1 知事をトップした台湾訪問団を派遣
- ・ R5.3 商工会議所連合会・商工会連合会と台北市進出口商業同業公會と経済交流覚書締結
- ・ R5.4 県工業連合会と台湾電子設備協会との商談会・交流会
- ・ R5.6 県内経済5団体（※）と中華民国三三企業交流会・台日商務交流協進会との業務協力覚書締結  
 ※熊本経済同友会、熊本県商工会議所連合会、熊本県商工会連合会、熊本県中小企業団体中央会、熊本県経営者協会の5団体
- ・ R5.7 台北に県のビジネスサポートデスク設置
- ・ R5.8 熊本県・熊本市・熊本日日新聞社の3者で、台湾からの来熊者の交流促進等に関する覚書締結
- ・ R5.9 セミコン台湾出展
- ・ R6.1 日台ライフサイエンス交流会
- ・ R6.2 くまもと産業復興エキスポ



「台湾企業とのビジネス交流会」商談風景



熊本県と台日産業連携推進オフィスとの連携協定締結

### 取組の方向性

- ・ 県内商工団体や企業と、台湾とのビジネス交流の展開を通じた、相互に互恵的な関係の構築



## 2 ビジネス交流の推進（1）日台間のビジネス交流・連携推進

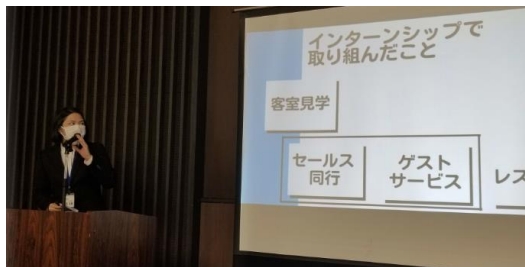
### ①日台商工団体・企業間の経済交流拡大

#### 目的・背景

TSMCの進出を契機として、商工団体や企業間の経済交流を推進し、日台間のビジネス交流の展開を図る。

#### 令和5年度の実施内容

- ・台湾の経済交流の動きを更に深めるため、台湾からのインターンシップ受入れや商談会の開催など、商工団体による交流の取組みを後押し
- ・「セミコン台湾2023」（R5.9）への出展により、半導体関連企業の誘致を促進
- ・本県と台湾のスタートアップ企業や支援機関の交流促進（R6.1に日台ライフサイエンス交流会を開催）
- ・くまもと産業復興エキスポの開催（R6.2開催。台湾から約30団体出展予定）



台湾からのインターンシップ受入



セミコン台湾出展



日台ライフサイエンス交流会  
in Kumamoto



くまもと産業復興エキスポ

## 2 ビジネス交流の推進（1）日台間のビジネス交流・連携推進

### ② ビジネスサポートデスクの設置

#### 目的・背景

熊本－台湾間の経済交流や双方向の企業進出の意欲が高まる中、企業や各種団体等からの様々な相談に対応する。

#### 令和5年度の実施内容

○R5.7月から台北に相談窓口を設置し試行的に運用を開始。同年11月から「熊本・台湾ビジネスサポートデスク」として本格運用。

◆相談件数：延べ158件（月平均25件程度） ※R6.1月末時点

◆主な相談内容：

- ・ 自社商品の台湾市場でのニーズの相談
- ・ 台湾の商習慣とビジネスマナーに関する相談
- ・ 台湾での視察先候補の提案及び調整
- ・ 出張者のアテンド対応 など



熊本・台湾ビジネスサポートデスク



台湾とのビジネス  
について、  
どこに相談したら  
いいかわからない



台湾の企業を  
紹介して欲しいけれど  
ツテがない

## 2 ビジネス交流の推進（2）輸出拡大、国際物流強化

### 現状、経緯

- ・ R2年度以降、農畜産物（加工品含む）の輸出が大幅に増加  
※農畜産物分野においては国・地域別輸出額で台湾が1位  
好調な牛肉の輸出が大きく関与（R1:2.1億円 → R2:11.5億円）  
（参考）

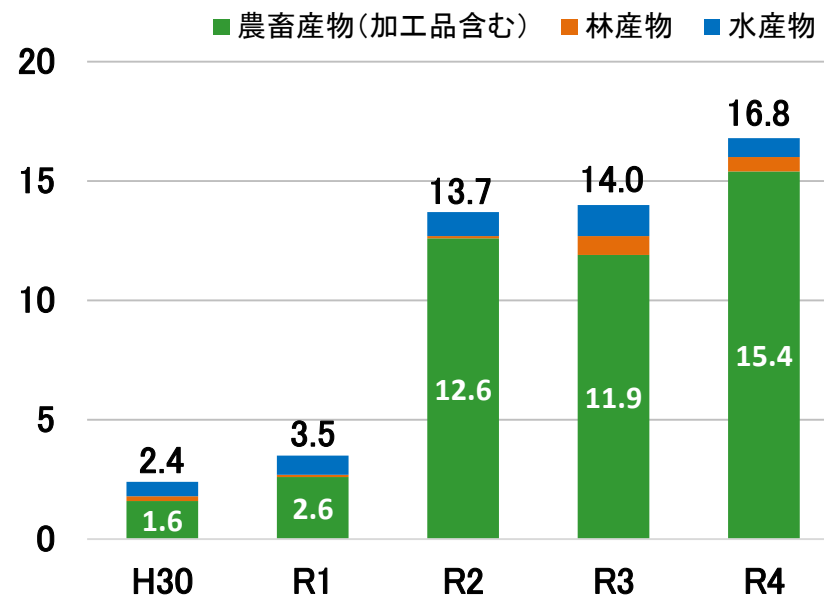
農林水産物等全体の輸出実績は令和4年度に105億4千万円と初めて100億円を突破し、令和5年度の目標である110億円の達成に向けて順調に推移している。

- ・ R3.1 八代港と台湾とを結ぶ国際コンテナ定期航路の就航
- ・ R5.12 熊本～台北線の阿蘇くまもと空港における国際貨物輸送の実施

### 取組の方向性

- ・ 台湾のニーズや規制に応じた輸出拡大施策の展開
- ・ 海上輸送や航空輸送などの国際物流の強化

■ 台湾への輸出実績（年度） 単位：億円



## 2 ビジネス交流の推進（2）輸出拡大、国際物流強化

### ① 台湾への輸出拡大

#### 目的・背景

T SMC進出を契機に交流が活発化し、地理的にも近い台湾に対する輸出を拡大するため、輸出産地形成や事業者支援、取引機会の創出に取り組む。

#### 令和5年度取組内容

##### 輸出産地の形成

- ・地域の生産者や農業団体、流通事業者、県等が参画し、輸出推進体制を構築。
- ・台湾向けいちごにおいては、防除暦の策定や残留農薬検査の実施により、生産方法の転換に取り組んでいる。



##### 事業者の伴走型支援

- ・支援を希望する事業者に対して輸出の専門家が伴走支援し、事業者の輸出ステージに応じて専門的アドバイス等を実施。
- ・新たに輸出に取り組む事業者向けの輸出ハンドブックも整備中。



##### フェア等での取引機会の創出

##### 【熊本フェア in 台湾】

時期：R5年8月3日～13日

場所：台北市 微風廣場（3店舗）

桃園市 遠東SOGO（1店舗）

参加者：12事業者（87品目）

果物ゼリー、純米カステラ  
乾燥野菜、焼酎、調味料 等





## 2 ビジネス交流の推進（2）輸出拡大、国際物流強化

### ②国際コンテナ定期航路等の充実

#### 目的・背景

国際コンテナ定期航路等が就航している県内港（八代港・熊本港）の利便性向上を図るため、新規航路の開設や既存航路の拡充（延伸・増便）を促進する。

#### 令和5年度を取組内容

■国内外の船社に対し、県内港への新規就航や増便等を積極的に働きかけるとともに、新規航路の開設や拡充（延伸・増便）を行った船社に対する経費の一部助成を行った。

○上記取組みに加え、半導体関連産業の集積に伴い、両港における建材や設備等の輸入、今後は半導体製造に用いる化学品等の輸入等が見込まれる影響もあり、以下のとおり両港の利便性が向上した。

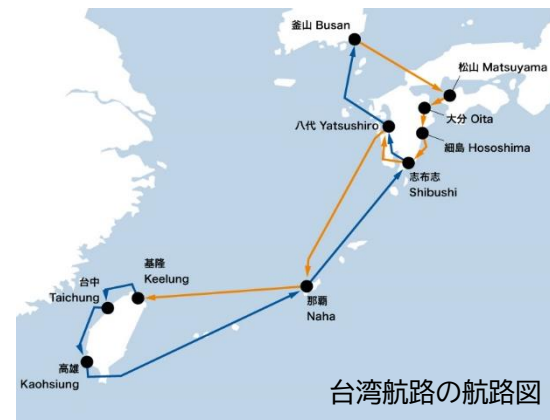
（八代港）

- ・ R3. 1に就航した台湾航路が、隔週運航から毎週運航に増便（R5. 1月）
- ・ 同航路のダブルコール（1航路で2回寄港）が再開（R5. 8月末）  
（輸入に係る所要日数が9日→5日に短縮。輸出は3日のまま。）

（熊本港）

- ・ 神戸港との間に国際フィーダー航路（※）新規就航（R5. 4月）  
（これまでの釜山港に加え、神戸港を経由したグローバルな海上運送も可能に。）

※ 船舶による輸出入において、主要港から地方港向けに小型船による2次輸送を行う航路



### 3 国際交流の推進

#### 現状、経緯

- ・ R5.8～9 TSMC出向者（家族含む）が来熊（熊本市、菊陽町、合志市、大津町）  
※ 家族を含め最終的に約750人となる見込み

【法務省入国管理局 在留外国人統計】（単位：人）

	H30年12月	R元年12月	R2年12月	R3年12月	R4年12月	R5年6月
全国	2,731,093	2,933,137	2,887,116	2,760,635	3,075,213	3,223,858
熊本県 （外国人割合）	15,576 (0.89%)	17,942 (1.03%)	17,751 (1.02%)	16,686 (0.97%)	20,660 (1.19%)	22,318 (1.31%)
ベトナム	4,877	6,178	6,396	5,804	6,251	6,387
フィリピン	2,286	2,661	2,536	2,523	3,044	3,304
中国	3,842	3,856	3,645	3,238	3,201	3,246
インドネシア	498	690	690	652	1,577	2,013
台湾	294	295	221	183	349	511

この後TSMC  
出向者等の  
転入により更に  
増加

#### 取組の方向性

- ・ 外国人と地域住民が安心して働き、暮らすことのできる環境づくりの推進
- ・ 国際交流の更なる広がり、県民の国際感覚の醸成

### 3 国際交流の推進 (1) 多文化共生の推進・受入環境整備

#### 目的・背景

今後、半導体関連企業の外国人材の更なる増加が見込まれることから、台湾の方をはじめとした在住外国人の生活サポートを充実させる。

#### 令和5年度の実施内容

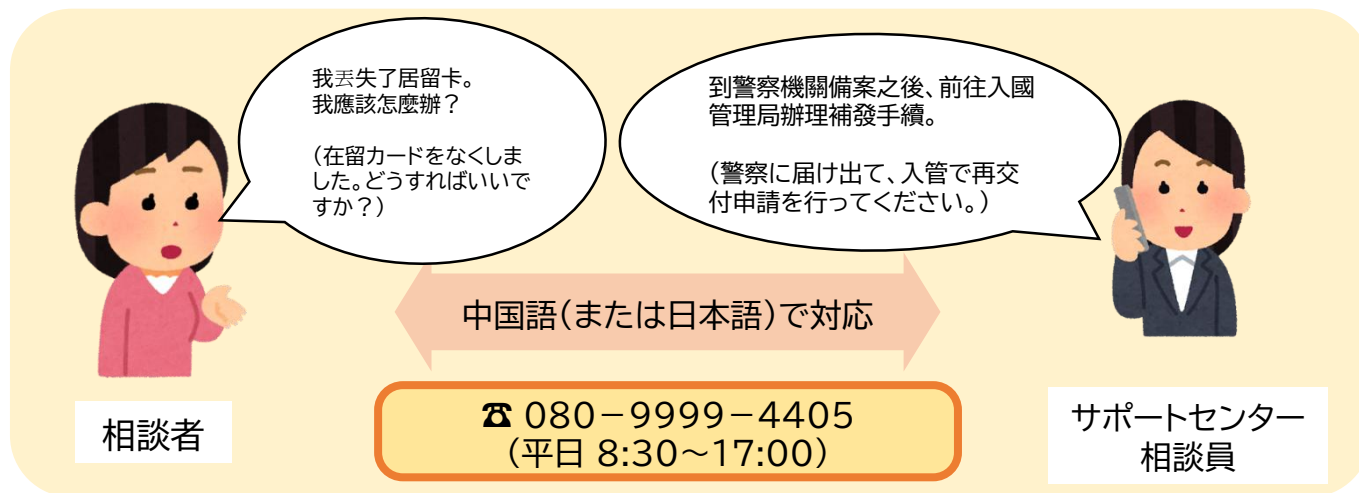
##### ①台湾相談ホットラインの設置（熊本県外国人サポートセンター内）

- ・台湾の方からの相談や問合せにきめ細かに対応するため、中国語（又は日本語）対応のホットラインを設置（R5.8～）。LINEでも対応中。
- ・JASM社員向けに生活するうえでの困りごとの有無等についてアンケート実施中。
- ・令和6年度からサポートセンターに「台湾ホットライン相談員」を新たに設置する予定。

◆相談件数：52件(R6.1時点)

◆主な相談内容：

- ・チャイルドシートの安全基準
- ・台湾から呼び寄せる両親の在留資格
- ・子どもの預け先 など



## 3 国際交流の推進 (1) 多文化共生の推進・受入環境整備

### 令和5年度の実施内容 (つづき)

#### ②市町村外国人受入連絡協議会の設置支援

在住外国人との共生を進める上での課題の把握・共有や、解決策を協議する場として、「市町村外国人受入連絡協議会」の設置を支援。

【R3年度：長洲町（独自設置） R4年度：阿蘇市、菊陽町、大津町、南阿蘇村 R5年度：合志市】



#### ③地域日本語教室の設置支援

・地域住民と在住外国人が日常生活に密着した「やさしい日本語」での会話を通じて、互いの文化や習慣を学ぶ交流型の「地域日本語教室」を開設する市町村を支援。

【R3年度：荒尾市、水俣市、長洲町 R4年度：大津町、高森町、南阿蘇村 R5年度：阿蘇市、玉東町、西原村】

・令和5年度からは「オンライン初級日本語教室」を実施。

【受講者：65名（応募者：198名）、うち台湾の方：28名】

#### ④「外国人のための生活ガイドブック」改訂

入国後の手続き、交通、医療、教育や防災など、在住外国人の生活に役立つ情報をまとめた「外国人のための生活ガイドブック」を改訂。熊本県外国人サポートセンターのホームページに掲載。

※10言語に対応（やさしい日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ネパール語、クメール語、ミャンマー語）



#### ⑤外国人を対象とした119番通報の周知・啓発

地域日本語教室等において、各消防本部と連携し、119番通報に関する周知・啓発を実施。

### 3 国際交流の推進 (1) 多文化共生の推進・受入環境整備

#### 令和5年度の実施内容 (つづき)

##### ⑥ KUMAMOTO台湾祭

県民に台湾を知ってもらうことで多文化共生につなげるイベントを、民間団体と県国際協会が連携して開催  
【開催日：R5.9.29～R5.10.1、場所：花畑広場、来場者数：約7万3千人】

##### ⑦台湾ウェルカムイベント

TSMC関係者をはじめとした来熊されている台湾の方を対象に、本県への理解を促進するためのウェルカムイベントを開催  
【開催日：R5.10.14、場所：鶴屋百貨店、来場者数：約130名】

##### ⑧熊本と台湾の漫画家によるマンガを用いた多文化共生の情報発信

台湾の漫画家3名が来熊し (R5.9.26～9.29)、熊本の漫画家とともに、「マンガ原案制作会議」等を実施  
完成したマンガ「ONE HEART～マンガ・熊本多文化共生記」は、熊本・台湾の書店で配布し、LINEマンガで配信

##### ⑨県内在住外国人向け県内周遊モニターツアー

TSMCからの出向者等、熊本在住の外国人に県内の様々な地域の魅力を知ってもらうためのモニターツアーを実施  
【日程等：R6.1.13～R6.2.24、日帰り及び1泊2日の全6コース、申込者：119名 (R6.1時点)】



KUMAMOTO台湾祭



台湾ウェルカムイベント



マンガを用いた多文化共生の情報発信



モニターツアー



## 3 国際交流の推進 (2) 外国籍児童生徒の受入推進

### 目的・背景

外国籍の子どもたちが安心して生活ができるよう県内の教育環境を整備する。

### 令和5年度の実施内容

■TSMC出向者とその家族の来熊時期に合わせ、各教育機関と連携し、以下の取組みを実施した。

#### ○教育機関の環境整備

- ・ 公立学校の受入態勢を充実  
(教職員の追加配置、通訳・支援員の配置、翻訳機等の整備)
- ・ 私立学校の国際的な教育環境の整備に向け、新たな支援制度を創設  
(施設整備、教職員人件費、タブレット端末等の整備費用の一部を支援)

#### ○以下の教育機関でTSMC出向者の子ども約150名を受け入れ (R5.9)

- ・ 公立学校 (小学校、高校、特別支援学校)
- ・ ルーテル学院高校
- ・ 熊本インターナショナルスクール (幼児部、初等部、中等部)

#### ○更なる教育環境の整備に向けた検討・協議

- ・ ルーテル学院インターナショナルスクール小学部：R6.4開校
- ・ 熊本大学教育学部附属学校 (小学校、中学校)：来年度以降の外国籍児童生徒の受け入れを検討



### 3 国際交流の推進 (3) 国際交流の推進

#### 目的・背景

- ・ TSMC進出決定前から、県と熊本市は台湾・高雄市と友好交流協定（平成25年にMOU(交流促進覚書)、平成29年に友好交流協定）を締結し、交流を続けている。
- ・ TSMC進出を契機とし、自治体や民間での更なる国際交流を促進する。

#### 令和5年度の実施内容

##### ① 高雄市との交流

###### ○学校間交流が活発化

- ・ R5.5 高雄市小学校3校が芦北町を訪問し、現地で交流
- ・ // .8 高雄市中学校2校及び高校2校と県内の学校（中学2校、高校3校）とのマッチング
- ・ R6.1 高雄市小学校が山鹿市を訪問し、現地で交流

○熊本県議会日台議連が高雄を訪問し、市長及び市議会を表敬訪問(R5.12)

○産業復興エキスポに合わせて、高雄市から副市長訪問団が来熊予定(R6.2)

##### ② 県内市町村と台湾自治体との友好交流

###### 県内自治体の友好提携の動きが活発化

【友好交流協定】 県・熊本市－高雄市（H29）、八代市－基隆市（H30）、益城町－台中市大甲区（R5）、菊陽町－新竹県宝山郷（R5）

【MOU(覚書)】 南阿蘇村－屏東県東港鎮（R4）

